

1－3 豊かさを実感できるまち

- 1－3－1 いつでも・どこでも・だれでも学べるまちをつくる
- 1－3－2 スポーツ・文化活動の盛んなまちをつくる
- 1－3－3 産業活動が充実したまちをつくる
- 1－3－4 農林業の充実したまちをつくる

1-3 豊かさを実感できるまち

基本目標 1-3

豊かさを実感できるまち

価値観の多様化により、近年経済的な豊かさはもとより、心の豊かさ、時間のゆとりなど、さまざまな豊かさが求められており、本市でも豊かな自然を生かしながら、活力ある産業を育成するとともに、子どもから高齢者までが生涯を通じて学び、一人ひとりが生きがいの持てる、いきいきとしたまちを目指します。

そのため、市民が生涯を通して行う多様な学習活動やスポーツ・レクリエーション活動を支援する体制や、拠点となる施設の充実を図ります。

また、地域の資源である歴史や文化については、その保全・活用に努めるとともに、芸術・文化活動を積極的に支援し、大月らしさの創造を目指します。

一方、産業の振興は、地域の活性化や市民の安定した暮らしを支えるために不可欠であり、本市の財源を確保し安定した住民サービスを提供していくためにも大変重要な役割を果たします。今後は、農業、工業、商業、観光との連携を図り、地域産業の活性化を目指します。

個別目標

1-3-1 いつでも・どこでも・だれでも学べるまちをつくる

だれもが生涯を通じてさまざまなことを学ぶことができ、またそれを発表することができる環境を整備します。

1-3-2 スポーツ・文化活動の盛んなまちをつくる

だれもが気軽にスポーツや文化活動を楽しむことができる環境を整備します。

1-3-3 産業活動が充実したまちをつくる

市内の産業の強化促進とともに、新たな産業の誘致や起業家への支援などを進め、市内で働く人を増やします。

1-3-4 農林業の充実したまちをつくる

地産地消やふれあい農園など、本市の豊かな自然を生かした農林業の展開を図ります。

だれもが生涯を通じてさまざまなことを学ぶことができ、またそれを発表することができる環境を整備します。

現況と課題

近年、市民の生涯学習に対する意識はこれまでに増して高まりつつあり、ニーズも多様化しています。

本市では、中央公民館（市民会館）や地区公民館（10 館）・分館（70 館）のほか、郷土資料館や市立図書館などによる支援体制を進めてきました。

中央公民館では、文化教室や各種学習や講座が、地区公民館・分館では、高齢者学級、婦人学級、成人学級、家庭教育学級、地域づくり学級、世代交流教室など地域の特色を生かした生涯学習活動が行われています。

郷土資料館においても、各種講座や教室の開催などを通して郷土を学ぶ市民の活動を支援しています。

また市立図書館では、図書資料をはじめハイビジョン*・マルチメディア*による情報提供システム、映像ホールなど施設の充実が図られています。

今後は、これらの施設の充実を図るとともに、市の関係機関や関係団体、民間団体との連携・協力体制の確立をはじめ、学習情報の発信や主体的な活動を支援する体制の強化など、学習者の立場に立った市民学習活動への支援により、市民が生涯を通じて自由に学び続けることができる社会システムを構築することが必要です。

◆大月市立図書館入館者数の推移

（単位：人）

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
入 館 者 数	135,389	126,300	119,471	116,628	110,877	106,440
1 日 平 均	472	437	415	409	385	372

◆大月市立図書館蔵書資料の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
図 書 資 料	151,371	156,870	162,943	168,301	172,203	174,958
AV 資料	4,487	4,472	4,434	4,337	4,318	4,296

◆大月市立図書館のサービス実績の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
貸 出 点 数	194,423	182,821	166,602	171,354	166,616	143,294
うち貸出冊数 （図書・紙芝居）	151,225	145,179	136,944	140,562	138,058	121,656
市民一人あたり	4.9	4.7	4.6	4.7	4.8	4.3

（資料：社会教育課）

*ハイビジョン 高品位テレビ（HDTV）の通称。通常のテレビ放送よりも高精細で、画面が横長く、従来のテレビ放送とは互換性がない。

*マルチメディア ここでは、文字、静止画、音声、動画などを複合して情報を伝える手段のこと。

1-3 豊かさを実感できるまち

◆地区公民館における各種学級の開設状況

(単位: 回)

		平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
笹子	高 齢 者	1	2	2	1	2	2
	婦 人	—	—	—	—	—	—
	成 人	—	1	—	—	1	1
	その他の学級	2	1	1	2	2	—
初狩	高 齢 者	1	10	10	9	9	10
	婦 人	—	—	—	—	—	—
	成 人	1	3	3	3	2	3
	その他の学級	2	1	1	—	—	1
真木	高 齢 者	1	2	9	11	11	9
	婦 人	—	—	—	—	—	—
	成 人	1	1	—	—	—	—
	その他の学級	5	2	5	6	4	2
大月	高 齢 者	1	9	9	9	10	9
	婦 人	1	—	—	—	—	—
	成 人	—	—	—	—	1	1
	その他の学級	2	1	1	7	5	1
賑岡	高 齢 者	6	6	6	8	15	8
	婦 人	5	6	1	4	6	3
	成 人	8	8	2	6	18	6
	その他の学級	1	2	4	1	2	2
七保	高 齢 者	—	1	1	—	—	1
	婦 人	1	1	—	—	—	1
	成 人	6	12	23	21	18	10
	その他の学級	5	4	0	6	0	—
瀬戸	高 齢 者	1	10	10	10	10	9
	婦 人	—	—	—	—	—	—
	成 人	4	—	—	7	7	1
	その他の学級	—	5	5	4	—	2
猿橋	高 齢 者	—	—	—	—	—	—
	婦 人	—	1	1	—	1	—
	成 人	14	11	11	19	5	5
	その他の学級	1	—	—	2	9	1
富浜	高 齢 者	1	1	1	1	—	7
	婦 人	1	3	3	3	3	2
	成 人	—	—	—	—	—	3
	その他の学級	12	12	12	7	6	—
梁川	高 齢 者	1	3	3	3	3	1
	婦 人	—	—	—	—	—	—
	成 人	4	4	4	4	4	4
	その他の学級	3	2	2	8	5	1
中央	高 齢 者	—	—	—	—	—	—
	婦 人	—	—	—	—	—	—
	成 人	—	—	—	—	—	—
	その他の学級	4	0	0	4	5	4

(資料: 社会教育課)

1-3-1 いつでも・どこでも・だれでも学べるまちをつくる

個別目標達成のための施策

◆目指す姿◆

市民一人ひとりが生きがいを持っている

多様な生涯学習情報を市民に提供している

市民のニーズに対応した多様な活動ができる施設がある

◆実現に向けて〔施策〕◆

・生涯学習推進計画の推進
・短期大学における市民公開講座の充実

・生涯学習情報の提供
・図書館活動の充実

・文化施設の整備・拡充

施策の方向

市民一人ひとりが生きがいを持っている

●生涯学習推進計画の推進【社会教育課】

・学習拠点として、中央公民館、地区公民館、分館、市立図書館および郷土資料館等の生涯学習施設の充実を図ります。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
地域における生涯学習活動の満足度	6.5%	10.0%	6.9%	10.0%	生涯学習活動に対する満足度を高めることで、より多くの人に参加してもらいます。

●短期大学における市民公開講座の充実【短期大学】

- ・高等教育機関が有するノウハウ*を積極的に開放することにより、市民との連携のもと、豊かな地域社会づくりに寄与します。
- ・市民の多様化・専門化する学習ニーズに応え、特別聴講生や市民へのリカレント教育*などにより大学の教育内容を広く提供します。
- ・県が主体となって実施している「県民コミュニティカレッジ」の一環である公開講座を積極的に活用します。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
大月短大の公開講座に参加している市民	0.8%	1.0%	0.6%	1.0%	生涯学習の場として市民ニーズに対応すべく講座の充実を図り、多くの住民に教育の場を提供する。

*ノウハウ 専門的知識、専門的技術のこと。

*リカレント教育 学校を修了して社会に出た人が、必要に応じて働きながらまたは仕事を離れ、再び学校で受ける教育のこと。

1-3 豊かさを実感できるまち

多様な生涯学習情報を市民に提供している

●生涯学習情報の提供【社会教育課】

- ・各種講座・教室や各種クラブ・サークル等の生涯学習情報の提供を行います。

●図書館活動の充実【社会教育課】

- ・図書館まつりや各種展示講座、イベントの開催、ブックスタート事業等により、図書館活動の充実を図ります。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
一人あたりの 年間貸出冊数	4.9冊/人	5.1冊/人	4.3冊/人	5.0冊/人	親しみやすい図書館を目指すことで、図書館の利用度を向上させます。
一人あたりの 蔵書冊数	4.4冊/人	6.9冊/人	5.6冊/人	6.5冊/人	

市民のニーズに対応した多様な活動ができる施設がある

●文化施設の整備・拡充【社会教育課】

- ・市民の読書・学習活動の拠点となっている市立図書館の機能充実を図ります。
- ・市民が郷土を知り未来を考えて行くために、郷土の歴史・民俗・自然などに関する資料などを展示・収集・保管する郷土資料館の機能向上に努めます。

1-3-2 スポーツ・文化活動の盛んなまちをつくる

だれもが気軽にスポーツや文化活動を楽しむことができる環境を整備します。

現況と課題

市民のスポーツ・レクリエーション活動は、健康の保持・増進、体力の向上を図るとともに、人々との交流を深める役割を果たしています。

スポーツ施設としては、市民総合体育館や総合グラウンド（陸上競技場、野球場、テニスコート）、勤労青年センター、武道館などがあり、そのほか、小・中学校施設の開放などにより、各種スポーツ教室や市民のスポーツ・サークル活動を支援しています。

スポーツ団体は、大月市体育協会に種目別団体やスポーツ少年団、各地区の体育会など 35 団体が加盟しており、それぞれに活動をしています。そのほか、スポーツ振興のため、体育指導委員によるニュースポーツ等の普及指導や組織育成、各種スポーツイベントへの協力等を行っています。

このような状況のなか、だれもが体力や年齢、目的に応じていつでもスポーツに親しむことができる社会を実現するため、安全で快適な施設の確保や維持管理に努めるとともに、スポーツ・レクリエーション活動の新たな展開として総合型地域スポーツクラブ「大月市健やかスポーツクラブ」を設立し、現在はフットサル・グランドゴルフ・介護予防健康教室などの事業を行っており、今後はニュースポーツによる市民の健康増進を目的に新たな事業の追加などを検討していきます。

一方、市民の芸術・文化活動を支える施設としては、市民会館（中央公民館）や市立図書館、郷土資料館などがあります。

市民会館では、大ホールや市民ギャラリーなどを市民の文化活動に役立てています。

市立図書館では、ボランティアの協力を得ながら、各種イベントや講座、お話会など多様な活動を実施しています。

郷土資料館においても、友の会による活動や郷土を材料とした作品の募集等、展示以外の教育にも力を入れるなど、さまざまな活動を通して郷土を学ぶ市民の活動を支援しています。

これらの施設においても、今後さらに利用者の立場に立った利用しやすい施設を目指す必要があります。

◆体育施設の整備・利用者数（平成 22 年度）

（単位：人）

施設名		利用者数	設備
総合体育館		33,744	バレーボール2面 バasketボール2面 バドミントン6面
勤労者体育センター		11,875	バレーボール3面 バasketボール1面 バドミントン4面 ハンドボール1面
総合グラウンド	陸上競技場	9,841	フィールド内球技場兼用 トラック1周 400m 8コース
	野球場	10,860	内野スタンド 450 人 芝生スタンド 1,316 人収容 両翼 92m 中堅 112m
	テニスコート	7,988	コート4面 スタンド 84 名収容
武道館		2,527	128 畳

（資料：社会教育課）

1-3 豊かさを実感できるまち

◆学校体育施設開放の現況（平成 22 年度）

開 放 学 校 名		開 放 施 設 名		夜間照明設置
		校 庭	体育館	
小学校	旧 笹 子 小	○		○
	初 狩 小	○	○	○
	大 月 東 小	○	○	○
	大 月 西 小	○	○	○
	強 瀬 小	○	○	○
	旧 畑 倉 小	○	○	○
	七 保 小	○	○	○
	旧 瀬 戸 小	○	○	○
	下 和 田 小	○	○	○
	猿 橋 小	○	○	
	鳥 沢 小	○	○	○
	梁 川 小	○	○	○
中学校	大月第一中	○	○	
	大 月 東 中	○	○	○
	猿 橋 中	○	○	○
	富 浜 中	○	○	○

（資料：社会教育課）

個別目標達成のための施策

◆目指す姿◆

市民が健康で、明るく元気にスポーツ・レクリエーションを楽しんでいる

市民が気軽に文化・芸術とふれあうことができる

さまざまな活動の機会や発表の場が確保されている

◆実現に向けて〔施策〕◆

・市民スポーツ・レクリエーション活動の推進
・スポーツ・レクリエーション施設の整備
・スポーツ指導者・団体・グループの育成

・文化・芸術活動の推進

・生涯学習環境の整備

1-3-2 スポーツ・文化活動の盛んなまちをつくる

施策の方向

市民が健康で、明るく元気にスポーツ・レクリエーションを楽しんでいる

●市民スポーツ・レクリエーション活動の推進【社会教育課】

- ・各種スポーツ大会を開催します。
- ・市民のニーズに合わせた各種スポーツ教室を開催します。
- ・ニュースポーツの普及活動を強化します。
- ・高齢者や障害者のスポーツ活動への参加を促進します。
- ・保健活動との連携を強化します。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
市体育祭や地域の運動会などへ参加した人の割合	31.3%	35.0%	29.0%	35.0%	誰もが参加できるスポーツを取り入れ大会の市民意識を高めます。

●スポーツ・レクリエーション施設の整備【社会教育課】

- ・社会体育施設の機能を十分活用できるよう、また利用者に不便をきたさぬよう整備を行います。
- ・全市的なスポーツ・レクリエーション拠点施設の充実、強化を図ります。
- ・学校体育施設の開放拡大を検討するとともに用具等の充実を図ります。
- ・地域スポーツ施設の充実とともに、地域自主管理体制の確立も含め、管理員の適正配置を検討します。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
市民一人あたりの体育施設利用回数	2.4回	2.5回	3.3回	3.7回	健康の維持増進を図るため、市民の体育施設を利用する回数を増やします。

●スポーツ指導者・団体・グループの育成【社会教育課】

- ・スポーツ活動の活性化と競技力の向上を目指し、スポーツ指導者の養成・確保に努めます。
- ・スポーツ・レクリエーション団体を育成・支援します。
- ・各連盟、協会、スポーツ少年団等の組織の充実・強化・拡大を図ります。
- ・体育協会、体育指導委員協議会等各種団体との連携を図り、多くの市民がスポーツに親しめる場としての新たな総合型地域スポーツクラブの設立を進めます。

指標名	現状値 平成17年	目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
総合型地域スポーツクラブの増設	—	(設立)	1クラブ	2クラブ	子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できる身近なスポーツ・レクリエーション機会を提供します。

市民が気軽に文化・芸術とふれあうことができる

●文化・芸術活動の推進【社会教育課】

- ・市民の自主的・創造的な文化・芸術活動を振興していくとともに、文化・芸術に接する機会を拡充し、市民の文化活動を支援します。

1-3 豊かさを実感できるまち

さまざまな活動の機会や発表の場が確保されている

●生涯学習環境の整備【社会教育課】

- ・公民館活動を推進します。
- ・生涯学習推進大会などさまざまな発表の場の提供を行います。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
生涯学習推進大会参加者数	589名	1,000名	542名	600名	生涯学習活動が活発になることにより、生涯学習推進大会で発表する人の数も増加します。

1-3-3 産業活動が充実したまちをつくる

市内の産業の強化促進とともに、新たな産業の誘致や起業家への支援などを進め、市内で働く人を増やします。

現況と課題

近年の商業活動を取り巻く環境は、市民の生活行動範囲の拡大や消費者ニーズの多様化、郊外型大型店舗の立地などにより地域間・商店間の競争が激化しており、本市は地形的な制約から、店舗の拡大や駐車場の確保などが困難であるため厳しい状況にあります。

今後は、個店はもとより商店街や地域の競争力を高めるため、商工会などの支援団体の活動を強化し、経営者への支援や意識の高揚を図るとともに、共同店舗や共同駐車場などの一体的整備を進め、アクセスしやすく心が通った魅力ある商業空間を形成する必要があります。

一方で、市の代表的な地場産業である繊維産業は徐々に衰退し、その後、交通条件の向上により集積が進んだ電気機械や一般機械の製造業などについても、近年の景気停滞により一部の誘致企業に撤退が見られます。このように、雇用の場が減少している上、若者はもとより職を求める中高年齢者も増加しているため、就労を取り巻く環境はますます厳しいものとなっています。

このため、今後は、撤退・廃業により遊休化している工場用地等の確保や、それらを利活用した新たな企業の誘致などが重要な課題となっています。

さらには、本市の地域資源である自然環境を活用した、新たな環境産業などの誘致も検討課題となっています。

1-3 豊かさを実感できるまち

個別目標達成のための施策

◆目指す姿◆

起業したい人が増えている

新しい試みにチャレンジする経営者が
増えている

市内で働く人が増えている

市内の企業活動が活発になっている

◆実現に向けて〔施策〕◆

・起業家への支援

・市の資源を生かした産業の育成
・新製品の開発および販路拡張への助成・工業適地の確保
・企業誘致の推進および誘致企業への
支援
・若者の就職支援
・高齢者いきがい産業の育成・地場産品の市域外へのPR 機会の拡大
・各支援団体の育成・強化

施策の方向

起業したい人が増えている

●起業家への支援【産業観光課】

- ・融資環境の整備充実を図り、新規事業展開の支援を行います。
- ・農林業、商工業、観光産業等の連携を強化し、起業環境の整備を促進します。

新しい試みにチャレンジする経営者が増えている

●市の資源を生かした産業の育成【産業観光課】

- ・他産業と連携した農林業の展開や新たな産業の育成に努めます。
- ・自然を生かした交流観光拠点を整備し、野外活動型レクリエーション産業など、地域資源を活用した交流産業の育成を促進します。

●新製品の開発および販路拡張への助成【産業観光課】

- ・地場産業、関連団体等の連携強化による新技術の導入や、新製品の開発のための支援を行います。
- ・新製品の生産販売体制の確立や販路拡張のための支援を行います。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
新技術開発への助成件数	—	5件	1件	3件	新しい技術開発により、地域産業の活性化につなげます。

1-3-3 産業活動が充実したまちをつくる

市内で働く人が増えている

●工業適地の確保【産業観光課】

- ・廃業・撤退により遊休化した工場用地の有効活用を促進します。
- ・地形的特性を考慮した新規工場の計画的な配置を検討します。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
工場設置奨励制度の活用数	—	5件	0件	3件	産業の振興を図るための制度であり、工場等の新設・増設に伴う雇用の場を確保します。

●企業誘致の推進および誘致企業への支援【産業観光課】

- ・情報ネットワークの整備により、新たな企業立地を支援します。
- ・自然環境を生かした環境産業の誘致を検討します。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
企業誘致件数（累計）	17件	20件	18件	24件	工場適地等への工場等誘致を推進し、雇用機会の拡大を促進します。

●若者の就職支援【産業観光課】

- ・山梨県と連携し、若者の就職活動を支援します。

●高齢者いきがい産業の育成【産業観光課】

- ・高齢者の就業機会の拡大を図ります。
- ・団塊の世代受け入れのための就業機会の拡大を図ります。

指標名	現状値 平成17年	目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
大月市内で働きたい人の割合（60歳代）	44.1%	66.6%	43.8%	70%	市内に高齢者が生きがいをもって働ける場を増やします。

市内の企業活動が活発になっている

●地場産品の市域外へのPR機会の拡大【産業観光課】

- ・地場産品の市域外へのPR機会の拡大を図ります。

●各支援団体の育成・強化【産業観光課】

- ・商工会等支援団体の活動を強化するとともに、経営者意識の高揚や経営相談の充実、研修機会の拡充などを図ります。
- ・地場産業、各組合、商工会および大月短期大学等の連携強化に努めます。

1-3-4 農林業の充実したまちをつくる

地産地消やふれあい農園など、本市の豊かな自然を生かした農林業の展開を図ります。

現況と課題

若者の農業離れによる農業就業者の高齢化や農産物の輸入自由化など、農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。特に本市の農業は典型的な山間地農業であり、生産性の低い傾斜農地や小規模農地が多いため、効率的な農業経営を営むことが困難な状況です。今後、農業の持続的な発展を図っていくためには、多様な農業の担い手を確保・育成し、農業の協業化*を促進するなど体制を整備するとともに、農業基盤整備の推進を図り、効率的な農業生産活動ができる生産性の高い優良な農地の確保・保全を促進する必要があります。

また農産物においても、ブランド化や特産品開発への取り組みを強化するとともに、生産・加工・流通が一体的に行えるシステムの整備・強化や、情報通信網を活用した多様な農業情報の受発信を展開する必要があります。

さらに、首都圏に隣接している地域特性を生かし、農作業体験等を通じた地域間交流の促進や観光産業との連携強化が必要となっています。

林業においても、本市の森林面積は市域の約 9 割を占めていますが、零細な森林所有者が多く、保有する森林面積が 5ha 未満の林家が約 9 割を占めています。近年は、木材価格の低迷や後継者不足等の影響により、適正な施業が行われない森林が増加し、森林の有する公益的機能が十分に発揮されえない状況となっており、山林の荒廃が進行しています。

こうした状況を改善し、林業を振興していくためには、森林施業の集約化、合理化を図り搬出間伐等を促進するとともに、担い手の育成・確保が必要であり、地域林業の中心的な担い手となっている森林組合等の団体についても、組織の育成強化や活動の充実を図る必要があります。

また、木材産地のブランド化や間伐材の利活用の推進、特用林産物*の振興への取り組みを行うとともに、市域における林業生産・加工・流通が一体的に行える木材安定供給体制の構築を目指すことが必要です。

一方で、レクリエーションや健康づくりの場としての森林空間の活用についても関心が寄せられており、森林などの地域資源を活用した都市・農村間交流など地域活性化が課題となっています。

◆ふれあい農園申し込み・利用状況（平成 23 年 3 月 31 日現在）

	区 画 数	貸 出 状 況					
		市内		市外		計	
梁川農園	一般 170 区画	33 区画	20 人	137 区画	90 人	170 区画	110 人
	特別 3 区画	0 区画	0 人	2 区画	2 人	2 区画	2 人
猿橋農園	一般 20 区画	19 区画	16 人	1 区画	1 人	20 区画	17 人

（資料：産業観光課）

*協業化 協同で設備の近代化や経営の合理化、企業規模の適正化を推進していくこと。

*特用林産物 山や野原から採れるもののうち、木材を除いたもので、具体的には、きのこ、桐、木炭などをいう。

1-3-4 農林業の充実したまちをつくる

個別目標達成のための施策

◆目指す姿◆

多くの人が土に親しむ機会が増えている

豊かな恵みを生み出す林地がある

農林業後継者がいる

地産地消が進んでいる

◆実現に向けて〔施策〕◆

- ・農業基盤の整備・保全
- ・農業協業化の促進
- ・有害鳥獣対策の推進
- ・中山間農地*対策の推進
- ・遊休農地対策の推進
- ・農業・林業・観光との連携
- ・農林地を活用した交流の推進
- ・情報通信網を活用した農業の推進

- ・森林の保育と適正管理
(1-2-2 再掲)

- ・農林業従事者および支援者の育成・確保
- ・農業生産組合の育成・組織化

- ・地産地消の推進
- ・風土を生かした特産品・土産品の開発促進(1-2-4 再掲)

*中山間農地 山間地およびその周辺地域、その他地勢等の地理的条件が悪いため、生産条件が不利な農地のこと。

1-3 豊かさを実感できるまち

施策の方向

多くの人が土に親しむ機会が増えている

●農業基盤の整備・保全【産業観光課】

- ・農業振興地域整備計画に基づいて農地の適正管理を推進します。
- ・農業の生産性を向上させ、効率的な農業経営を行うため、農道や農業用排水路などの農業生産基盤の整備を推進します。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
農用地面積	510ha	現状維持	458.5ha	現状維持	農業生産基盤の維持を図ります。

●農業協業化の促進【産業観光課】

- ・農業法人組織の育成の強化を図ります。
- ・多様な農業の担い手を確保し、育成に努めます。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
農家戸数	1,069戸	現状維持	1,023戸	現状維持	新たな農業の担い手の確保に努めます。

●有害鳥獣対策の推進【産業観光課】

- ・有害鳥獣による食害防除の強化を促進します。
- ・有害鳥獣駆除関係団体との連携や支援を強化します。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
鳥獣進入防止柵設置延長	—	—	26.3km	33km	鳥獣進入防止柵の設置を行い、農作物を鳥獣害から守ります。

●中山間農地対策の推進【産業観光課】

- ・環境と調和のとれた農業生産への取り組みや、定着に取り組めます。
- ・農業の自然循環機能の維持・増進を図ります。

●遊休農地対策の推進【産業観光課】

- ・遊休農地対策等により農地の保全を図ります。
- ・遊休農地の活用に取り組む集落および団体等の活動を推進します。
- ・観光農園、市民農園等への利用拡大を図ります。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
遊休農地の復元箇所数	—	—	1箇所	2箇所	遊休農地が一団で存在する箇所について、耕作できる状態に復元し、遊休農地解消を図ります。

1-3-4 農林業の充実したまちをつくる

●農業・林業・観光との連携【産業観光課】

- ・ふれあい農園等の地域資源の活用や、各種法人等との協働による農業体験・林業体験を促進します。
- ・農業体験や林業体験を通じた観光施策の促進を図ります。
- ・多様な産業と連携した森林の多目的利用を促進します。
- ・ウェルネスパークやエコの里など、多様な資源間のネットワークを形成します。

●農林地を活用した交流の推進【産業観光課】

- ・ふれあい農園等地域資源を活用した都市住民との交流に努めます。

●情報通信網を活用した農業の推進【産業観光課】

- ・インターネットを活用し、効果的、効率的で、タイムリーな農業情報の受発信を促進します。

豊かな恵みを生み出す林地がある

●森林の保育と適正管理(1-2-2 再掲)【産業観光課】

- ・森林の多面的機能の維持・増進を図るため、適正な管理を促進します。
- ・県等と連携し、法令等に則り適切な林地開発の指導等を行います。
- ・関係機関との連携のもとに、治山・治水事業を促進します。
- ・民有林等の荒廃地などに対する管理や植林を働きかけます。
- ・森林組合などの林業事業体の体質強化や経営の多角化などへの取り組みを支援します。
- ・林道・作業道の適正管理に努めます。

農林業後継者がいる

●農林業従事者および支援者の育成・確保【産業観光課】

- ・農林業を担う人材の確保・育成に努めます。
- ・退職帰農者等の受入施策を推進します。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
認定農業者*数	2名	5名	2名	5名	認定農業者を確保し、農業従事者の増加を図ります。

●農業生産組合の育成・組織化【産業観光課】

- ・農業協同組合をはじめ農業関係団体との連携を強化し、生産から販売までの体制の整備を促進します。
- ・青空市場運営協議会の組織強化を図ります。
- ・農産物直売所、販売体制の整備を図ります。

*認定農業者 意欲ある農業者が、自らの経営を計画的に改善するために作成した「農業経営改善計画申請書」を市町村に申請し、市町村が基本構想に照らしそれを認めた場合に、農業経営改善計画を認定された農業者となる。このような農業者のこと。

1-3 豊かさを実感できるまち

地産地消が進んでいる

●地産地消の推進【産業観光課・学校教育課】

- ・観光と連携し、レストラン等での地域食材の利用促進を図ります。
- ・学校給食での地域食材の利用促進を図ります。

指標名	前期基準値 平成17年	前期目標値 平成23年	後期基準値 平成22年	後期目標値 平成28年	指標の考え方
朝市並びに直売所の 開設回数	104回	150回	906回 (3か所)	906回 (3か所)	朝市・農産物直売所の開設回数の増加により、地元農産物の消費拡大を促進します。

●風土を生かした特産品・土産品の開発促進(1-2-4 再掲)【産業観光課】

- ・さまざまな産業の連携による特産品・土産品の開発を推進します。
- ・伝統的な食・生活文化等に根ざした既存資源の活用による特産品や土産品の開発促進を図ります。
- ・お茶やウコン、ヤーコンなどの特産品化へ向けて栽培農家への支援を行います。
- ・大月産味噌や白うりの粕漬けなどの加工食品の特産品化への支援を行います。
- ・販売体制の確立や販路拡大のための助成を行います。

